

～ 人の心を動かすもの ～

校長 富士 篤也

一枚の写真、これは2019年8月18日、『第101回全国高校野球選手権大会』の準々決勝の一場面です。暑い日差しが降り注ぐ中、対戦したのは星稜高校と仙台育英学園高校。『17対1』という結果で、星稜が勝利しました。試合中、七回の場面で、星稜の2年生投手が、酷暑により投球中に右手首をつりかけるアクシデントが発生。相手投手の異変に気付いたのは、相手の仙台育英側のベンチにいた選手でした。自分が飲むために用意していたスポーツドリンク入りのコップを片手にグラウンドへ飛び出し、相手投手に差し出したのです。仙台育英の選手は、コップを手渡す際に「先は長いんだからしっかり飲みよ」と声をかけます。相手投手は「ありがとうございます」と応じ、コップに口をつけたといいます。敵や味方という立場を感じさせないフェアプレーに、スタンドから拍手が起こりました。



仙台育英の選手は、当時の心境を次のように明かしています。「相手があって野球ができています。2年生だったし、こんなところで何がしたら…と置いていきました」。新聞報道によると、仙台育英の選手たちは、以前、試合中のデッドボールに相手チームから冷却スプレーで手当てをしてもらった親切な行為を受けたことをきっかけに「何かあった際は自分たちも動こう」と話していたのだそうです。監督も「グラウンドに敵はいないと生徒に言っている。気づいたら向かっていた。」と選手の自発的な行動であることを語っていました。

学校便りでは、小さくははっきりと写っていないのですが、写っている選手、投手も相手もキャッチャーも審判員もみんな笑顔なんです。優しい心って、人をこんな素敵な笑顔にさせるんですね。

教育目標

「ふるさとを愛し、学ぶ意欲と確かな判断力・実践力をもち、心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する。」

キャッチフレーズ

「世界に拓く「龍風の丘」！」
～ 子どもの持つ良さを見つけ、認め、伸ばす教育の実践～

令和2年度・キーワード

「あたりまえを、あたりまえに
あたりまえを、ひたむきに！」

実は、龍南中生徒にも、素敵な生徒がたくさんいます。先日、道路ではねられたネコを路上から助け、側の歩道に運び、息絶え絶えのそのネコを見守っていた3年生男子生徒達。もちろん、自分たちが交通事故に遭ってはいけませんが、十分注意しながら後続の車両を誘導し、小さな命の灯を守ろうとした行為。ちょうど通りかかった私は、そのネコを看取るからと、生徒を帰宅させた直後、飼い主の方が車で通りかかり、自宅へと連れて行かれました。生徒の優しさがあるネコを飼い主に引き合わせてくれたと思うと生徒達の優しさ感動するばかりです。

また、その数日後でした、近くの介護老人ホームから電話がありました。「先週、施設の高齢の方が、近くのコンビニエンスストアで道が分からなくなり、困惑していたところ、通りかかった龍南中の男子生徒2名が高齢の方の話を聞きながら、親切にホームまで送り届けてくれたとのこと、感謝の電話でした。野球部の1・2年生でした、大人でもなかなかできることではありません。

家庭・地域で育てていただき、龍南中の学校生活、部活動で培った彼らの優しさが一人の高齢者を助けた例でした。こんな素敵な生徒がいます。龍南中ステキです！

「コロナになんか負けない
龍南中の熱き心！」

コロナ禍の中、感染防止策を講じ、来場者を一部制限し、9月27日(日)、第73回龍南中学校体育大会を実施しました。

ご来場いただいた御来賓、保護者、PTA役員、地域の皆様等のご協力に深く感謝申し上げます。

体育大会実行委員長、大野幸乃進さん、副委員長：藤井瑠璃さんのリーダーシップの下、全学年を二つの団(紅白)に分け、紅団(団長：中田ひなたさん、副団長：田中颯芽さん)、白団(団長：山田優楽さん、副団長：森はるなさん)、対抗戦形式で実施しました。各団の団長を中心に、白団、紅団ともに一致団結して最後まで全力を出し切って戦いました。

どの生徒も出場する競技に、全力で臨み、スローガン

「一人一人が英雄になれ！」「目指せ優勝、輝け龍南魂！」のもと「龍南中生徒はコロナウィルスには負けない」という姿を観客の皆さんに見せてくれました。一生懸命取り組んでいる生徒たちは、本当に輝いていました。本校の伝統の一つ、応援演舞では、各団の練習を積み重ねた演舞、応援団以外の生徒を鼓舞する演技に魅了されました。その演技の陰には、夏休み中からひたむきに応援の練習を積み重ねていた応援団員の努力があります。今年も、先輩から後輩に、「伝統ある龍南中魂」が確かに受け継がれていきました。行事を通して、生徒の輝いている姿を見るたびに、子ども達の中にあるまだ、秘められた力はいったいどれだけのものだろうと、驚愕させられます。それと同時に、伸びゆく若人の姿に、「君なら、もっと、やれる、自分を信じて！」とエールを送ります。保護者・地域の皆様には、今後とも、学校行事等にご参加いただき、子どもたちに励ましの声をかけていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



競技の部優勝：白団、応援の部優勝：白団
新記録賞：背渡し 43.0秒 2年1組

「 届け、文化の香り 」

10月30日（金）第73回龍南中学校文化祭が行われました。



テーマ 『龍風開花』

「龍南の風にのって、
新たな花を咲かせよう！」

今年、コロナの影響もあり、合唱コンクール（1学期実施予定）を文化祭と合わせて行いました。合唱、英語ショートスピーチに続き、総合的な学習の成果を、各学年「劇」で表現しました。また、本校吹奏楽部の演奏で幕を閉じました。ステージ発表と並行して、体育館内のスペースには、展示発表も設置され、多くの保護者の来場で賑やかでした。

文化祭、この大きな文化的な行事が終わると、2学期の学習のまとめ、期末テストがやってきます。特に、3年生は、三者面談、進路決定、受験とあっという間の時の流れです。それぞれが中学生としての自覚を持ち、学習に取り組んでほしいものです。



「 思いを伝える 」

10月22日（木）校内弁論大会が行われました。8名の生徒が、各学級・学年の代表として全校生徒の前で自分の思い・考えを堂々と発表していました。

結果は、
最優秀賞 節和深愛（2-1）「母」
優秀賞 藤井瑠璃（3-1）「どんなかたちでも」
優秀賞 青堀陽斗（1-1）「言葉は魔法」

11月6日（金）にリモートで行われる、龍郷町中学校弁論大会に出場します



ちょっと、一冊!

『カラフル』 森 絵都 著

「おめでとうございます! 抽選にあたりました!」 生前の罪により輪廻のサイクルからはずされたぼくの魂が天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスを得た。自殺を図った中学三年生の少年、小林真の体にホームステイし、自分の罪を思い出さなければならないのだ。ガイド役の天使のプラプラによると、父親は利己的で母親とは不仲、兄の満は無神経な意地悪男らしい。学校に行ってみると友達がいなかったらしい真に話しかけてくるのは変な背の低い女子だけ。絵を描くのが好きだった真は美術室に通いつめていた。ぼくが真として過ごすうちに、しだいに家族やクラスメイトとの距離が変わっていく。モノクロームだった周囲のイメージが、様々な色で満ちてくる。



自分を見つめる年頃にぴったりの物語ではないでしょうか?

「学校におこしく下さい」

11月1日～11月7日まで、地域が育む「かごしまの教育」県民週間となっています。

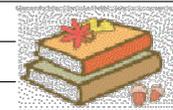
この期間を中心に、本校では学校参観日として、11/2～11/6に学校自由授業参観を設定しています。※11/4はテストのためご遠慮ください。

ご希望があれば、年間を通じて、自由に授業参観をしていますが、特にこの週間、授業参観をおすすめしています。是非、ご来校ください。保護者の皆様、地域の皆様方のご来校を心よりお待ちしております。



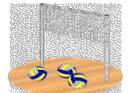
11月（霜月）November

日	曜	行 事 等
1	日	週休日
2	月	安全点検
3	火	(祝)文化の日
4	水	生徒朝会（生徒会役員任命式・引継式）、 3年実力テスト、PTAあいさつ運動（2年、～10日）
5	木	町教委訪問（午後）
6	金	日本復帰記念中学校弁論・ショートスピーチ大会
7	土	週休日、龍進未来塾
8	日	週休日
10	火	全校集会、進路セミナー
11	水	三者面談（3年：～21日）
13	金	歯の健康教室
14	土	土曜授業
15	日	週休日
17	火	学年朝会
18	水	避難訓練
20	金	テスト前部活動中止（～26日）
21	土	週休日、青少年健全育成の日
22	日	週休日、家庭の日
24	水	全校朝会
25	木	期末テスト（～27日）
27	金	生徒会専門部会
28	土	週休日、龍進未来塾
29	日	週休日、町PTA研究大会



10月の表彰等

徳洲会旗バレーボール大会
〈3位〉
女子バレー部



龍郷町理科作品コンクール

〈特選〉
松元 穂子 2-2 堅山 玲未 2-2
泉 愛子 2-2

〈入選〉
有川 彩菜 2-2 嘉江 美夏 2-1
箕輪 ゆりあ 2-1 重田 明 2-1
柴 海斗 2-1 柴 乃愛 1-1
伊藤 環 1-1 勝 莉乃 1-1

